

<スクールアルバム>

社会科見学・いざ鎌倉（小6）



小菅ヶ谷地区敬老の集いで
は、演奏や讃美しました♪



文化祭では自作のゲームや
作品の展示など盛りだくさん！



野七里ケアプラザで皆で育てた
野菜、保護者の手芸品を販売



お願い・ご報告

- 10月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力感谢您します。
- 4日（火）より、GS（小1）さんが、入学しました。歓迎します。祝福をお祈りください。
- 18日（火）～28日（金）、霧島キリスト教会（宮崎県）のAN（なごむ 中2）さんが、短期体験留学生として来ます。ホームステイをし、本郷台キリスト教会の活動にも参加します。お父さまは、以前、本郷台キリスト教会でご奉仕されていた浅野謙師です。有意義な体験留学となるようお祈りください。
- 「上郷東ふくしほけんまつり」でのスクールで収穫した野菜等の販売収益は、8,650円でした。全額新校舎建設資金として用いさせていただきます。
- 高等部は、12月4日（木）～11日（木）まで、スクーリング（兵庫県）です。3日（水）に出発し、12日（金）に行われる生徒大会に参加し、横浜に戻ります。とてもハードなスケジュールとなりますが、健康が守られ、よき学び、よき交流となるようお祈りください。なお、15日（月）は、代休です。
- 12月13日（土）14時～18時、本郷台駅前で行われるクリスマスマーケットに、小・中学生は、登校日として、奉仕・参加をします。ご協力をお願いします。詳細は、後日ご連絡します。なお、15日（月）は、代休です
- 12月のスケジュールをご確認ください。
 - 4日（木）～11日（木） 高等部スクーリング（3日（水）出発、12日（金）帰浜）
 - 13日（土） 14時～18時 駅前クリスマスマーケット（小・中学部 登校日）
 - 15日（月） 代休（小・中・高等部 休校日）
 - 17日（水） スクールクリスマス会
 - 19日（金） 授業・昼食終了（3限授業、昼食あり 12時40分下校）
13時～ 高等部入試
 - 20日（土） 保護者・スタッフ清掃（9時～10時30分）
 - 22日（月）～1月7日（水） 冬休み

今月のみことば（暗唱聖句）

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」 Iヨハネ 4:10

「In this is love, not that we loved God, but that He loved us and sent His Son to be the propitiation for our sins」 I John 4:10

祈禱課題

- 1、スクール関係者すべてのうちに神の愛と守りと喜びが満ちるように。
- 2、チャリティーコンサートに向けての準備が整えられ、当日は多くの来場者が来られ、新校舎建設のために豊かに献げられるように
- 3、徐々に開かれていく学校法人化への道を信仰持って皆で進んで行かれるように。
- 4、高校3年生の進路に主の導きがあるように。生徒祝福式の祝福。



のあインターナショナルスクール スクール通信 11月号

2025.Nov.1

VOI.218

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神の建てた家に住む」

高等部担任 山神舞

ある雨風の強い夜、ふと天井を見上げながら「屋根と壁と床があるって、なんて感謝なことだろう」と思いました。家なら当たり前のことのように感じますが、その“当たり前”がどれほどありがたいかを、最近よく考えます。

童話『三匹の子豚』では、わら・木・レンガで建てた三つの家が登場します。わらの家はオオカミの一吹きで壊れ、木の家も体当たりで崩れ、唯一レンガの家だけがびくともしません。そこに住む子豚の命は守られました。この話は、「どんな備えをしていれば安全に暮らせるのか」を教えてください。

私が今住んでいるのは、築50年を超える木造の古い家です。現実の家ですからちゃんと建っていますが、生活のトラブルが本当に多い！ ガスや電気、水回り、床、天井……あちこちで「なんだこれ〜！」という出来事が起こります。そのたびに祈って、自分でできることをしたり、誰かに助けってもらったりして、なんとか乗り越えてきました。助けてくれた人たち、そして守ってくださる神様に心から感謝しています。すると自然と「屋根と壁と床があるって素晴らしい」「誰かの支えで生きている」「神様ありがとう」と思えるようになるのです。日常の“当たり前”の中に、神様の恵みが見えるようになります。

家のことに限らず、私たちの生活には“当たり前すぎて感謝を忘れていること”がたくさんあります。家族がいること、着るものや食べるものがあること、友人がいること、お金があること。実家を出て暮らすようになると、「お弁当を作ってくれる」「洗濯してくれる」「トイレトペーパーが常にある」——そんな小さなことまで、親の支えがあったことに気づかされます。与えられている恵みに目を向け、感謝する習慣を持ちたいものです。ただし、他の人と比べてはいけません。比べると、まるで自分には何もないような錯覚に陥ってしまいます。神様はすべてを造り、必要なものを与えてくださる方です。もし「足りない」「ない」と感じる時があるなら、それはむしろ神様の恵みにもう一度目を向けるチャンスです。どんな状況でも「まず感謝する」ことを見つけると、見える世界が変わります。この心の備えがある人は、どんな困難や理不尽なことが起きても、簡単には揺るがされません。

あなたの心は、わら・木・レンガ、どの家に住んでいますか？ サタンの嵐に吹き飛ばされるわらの家や木の家ではなく、神様への信仰を土台にした、揺るがない家に心を住ませましょう。童話の最後で、オオカミは煙突から侵入しようしますが、子豚は備えていたおかげでその攻撃を防ぎ、むしろ勝利します。神の家に住む者もまた、誘惑や試練が襲っても、神の助けによって立ち向かうことができるのです。

2025年という一年を振り返るとき、あなたの“当たり前”の中にどれほど神様の臨在があるかを数えながら、一緒にクリスマスを待ち望みましょう。

家よりも、家を建てる人が大いなる栄誉を持つと同じように、イエスはモーセよりも大いなる栄光を受けるにふさわしいとされました。家はそれぞれ誰かが建てるのですが、すべてのものを造られたのは神です。（ヘブル人への手紙3章3～4節）

11月のカレンダー

日	月	火	水
2日 I先生誕生日	3日 文化の日	4日 ヤダ ICS 生歓迎会 (1限)	5日 合同礼拝 生徒祝福式(1限) 特別授業(教会関連団体施設訪問 中高等部) クラブ活動(6限) N先生誕生日
9日 本郷台キリスト教会 子ども祝福礼拝(11時) 新校舎建設チャリティーコンサート (13時) (ダイヤモンドチャペル)	10日	11日 I先生、浩先生誕生日	12日 学部別礼拝(1限) 玉井チャーリー氏による特別授業 (中高等部) ヤダ ICS オンライン授業交流 (小学部:10時/中・高等部:13時30分)
16日	17日	18日	19日 代休
← 後期中間テスト週間(中高等部) →			
23日 勤労感謝の日	24日 勤労感謝の日(振休)	25日	26日 合同礼拝(1限) ハンガーゼロによる特別授業 (2限:小学部 3限:中高等部) 委員会活動(6限)
30日 H先生誕生日			

- ・後期より、水曜日の午後と金曜日の午後の時間割を入れ替えました。それに伴い、時程を少し変更しています。
- ・3日(月)～22日(土)、ヤダ ICS より短期留学生(Sさん(中1)、Sさん(中3)、Sさん(中3))の女子3名が来ます。祝福をお祈りください。4日(火)1限に、歓迎会をします。
- ・5日(水)1限、合同礼拝の中で、生徒祝福式を行います。一人ひとり牧会者にお祈りしていただきます。
- ・5日(水)、中高生は、特別授業として、2限よりダイヤモンドチャペル等に移動して、教会及び教会関連団体のまってる、泉の働きについて学びます。有意義な学びとなるようお祈りください。
- ・9日(日)、ダイヤモンドチャペルにて新校舎建設チャリティーコンサートを行います。生徒の皆さんは、登校日です。この日は、本郷台キリスト教会の第3礼拝は、子ども祝福礼拝を行いますので、10時45分に登校してください。(ジョイジョイチャペル、ユース礼拝も合流です。所属教会の礼拝に出席する方は、担任までご連絡ください。)ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、出席をお願いします。なお、19日(水)を代休(休校日)とします。
- ・12日(水)、中高等部は、特別授業を行います。講師は、精神障害者グループホーム ホサナホーム事務局長 玉井 チャーリー 千尋氏です。有意義な学びとなるようお祈りください。
- ・12日(水)、ヤダ ICS とオンライン授業交流を小学部は10時～、中高等部は13時30分～行います。
- ・13日(木)3、4限、小学部は、ダイヤモンドチャペルで行われる“まってるまつり”に参加します。また、高等部の数名が、販売で参加します。
- ・17日(月)～21日(金)は、後期中間テスト週間(中・高等部)です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・21日(金)6、7限、ヤダ ICS 短期留学生の歓送会を行います。
- ・26日(水)、世界食料デーの取組みとして、ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)高橋秀幸氏による特別授業を、2限に小学部、3限に中高等部が行います。また、すでにチラシを配布しておりますが、募金にもご協力ください。12月19日まで受け付けます。

木	金	土
		1日
6日	7日	8日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム		W先生誕生日
13日 まってる祭り (ダイヤモンドチャペル 3、4限)	14日 校舎建設資金作りのための作業手伝い (10時～14時)	15日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム		
20日	21日 ヤダ ICS 生歓送会 (6、7限)	22日
27日	28日	29日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム		

- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを 6日(木)、13日(木)、27日(木)の13時30分～、のあISのB教室で行います。子ども達が日々恵みを受けている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。お問い合わせは鈴木まで。
- ・資金作りのための作業手伝いでは、先の文化祭で68,484円を新校舎建設のために献げることができました。ご協力に感謝します。今月は14(金)10時～14時、別館にて作業します。

子育て note

「成長の伴奏者」

リーグにおける頂上戦においての、3ホームランと10の奪三振、野球選手大谷翔平の話題がスマホの至るところに登場しています。おそらくお父さんは、かつての野球マンガ、「巨人の星」の主人公のお父さん、星一徹のように厳しい指導をしたのかなと思います。大谷選手の育った家庭やお父さんのことを少し調べてみました。すると、大谷選手のお父さんは確かに元社会人野球の選手をしていて、やがて監督もしていた方でしたが、その育て方は星一徹とまるで反対の育て方をしていたようです。大谷選手が小学生の頃はその属していたチームの監督やコーチをしていて、親子の間で野球ノートを交換していたそうです。家庭の方針は、家の雰囲気はいつも朗らかにし、子供たちの前で絶対に夫婦喧嘩をしないことを大切にしていました。絶対に頭ごなしに怒らない、子供の言うことを否定しない。何でもやりたいことを楽しくやらせるのがモットーだったそうです。小学校の頃、お父さんとやり取りをしていた野球ノートにおいては、何かがうまくいかなかった時には、次に何をすればその課題を克服できるのかを、考えて行動に移すよう、彼に求めていたそうです。何かに挑戦したそのプロセスや最後まで諦めない粘りを認めてあげて、「どうしたらもっと良くなるのか」自分で考えさせる習慣を育ませるよう取り組んでおられたようです。自主性を重んじ、常に自己肯定感の中に留まることができるように指導したのが、今日の彼の野球人生の成功の鍵でした。ここまで、大谷選手の父親とのやり取りだけに焦点を合わせましたが、自主性をできる限り重んじて、その心の成長のために、自己肯定感をいつもキープできるように指導してあげることが、スクールにおいてもご家庭においても、一番大切なことではないでしょうか。そのように、子供たちの心の成長の伴奏者となって、絶えず、コミュニケーションを図ることが、子供たちが豊かに羽ばたいていく未来のためには、欠くべからざることであると思われます。

校長 月井博